

作者プロフィール

柚木 文夫氏 千葉県隊友会会員 習志野支部長 桧町陸幕 平成2年退官 1958年防衛大学卒

北アルプス 雲ノ平に遊ぶ



アルプス庭園

9月上旬、北アルプス・雲ノ平に遊んだ。標高 2500mの高みに広がる雲ノ平は、裏銀座や薬師などの山々からいつも見下ろしながら、いつかゆっくり訪ねたいと願っていた夢の楽園である。

今回は1日目にブナ立尾根を登って烏帽子小屋泊、2日目は野口五郎岳を越えて水晶小屋泊、3日目は雲ノ平山荘泊でゆっくり雲ノ平周遊、4日目、太郎兵衛平を越えて富山に下山、という贅沢な計画にした。

初日は、ブナ立尾根を登り、烏帽子小屋から烏帽子岳(2628m)を往復した。翌日は、雨の中を行軍し、野口五郎岳(2924m)を越えて、水晶小屋に転がり込んだ。

3日目、雨も上がり気分良く、水晶岳(2986m)に登った。水晶岳は、黒岳の名前で深田久弥が日本百名山に挙げている山である。深田久弥曰く「大抵の山は、頂上から俯瞰すると、平野か、耕地か、煙の立つ谷か、何か人気臭いものを見出す



雲ノ平山荘と水晶岳

が、黒岳からの眺めは全くそれを絶っている。四周

全て山である。文字通り北アルプスのど真ん中・・・」と。5時起きで、小屋から水晶岳への往復1時間。頂上からの眺めは抜群。とりわけ眼下に広がる緑の園・雲ノ平が魅力的だった。

7時、水晶小屋を発って雲ノ平に向かう。岩苔乗越、祖父岳を経て、しゃれた八角屋根の雲ノ平山荘に着いたのが10時。一休みした後、カメラ片手に雲ノ平散策に出かけた。誰が名前を付けたのか、スイス庭園、ギリシャ庭園、アルプス庭園、

アラスカ庭園、日本庭園などなど、それぞれ岩とハイマツのコントラスト、草原と池塘の取り合わせ、それらが周囲の山々を借景として、絶妙の雰囲気を醸し出している。正に雲ノ平は、天上の楽園の名に恥じない。



スイス庭園

小屋に帰った夕方、水晶岳が夕日に金色に輝き、雲ノ平劇場のフィナーレを飾った。期せずして小屋の周囲から上がる大歓声。長年の願がかない、大満足の夢の一日だった。



夕映えの水晶岳(雲ノ平山荘から)